

2019年（平成31年）度定時社員総会議事録

日時：2019年3月27日（水）10:50～11:50

会場：朱鷺メッセ マリンホール（A会場）

開会の辞

仲嶋常務理事より、事前に寄せられた書面評決状の総数250通（第1～7・9～12号議案について賛成244、反対0、第8議案について賛成243、反対1）、委任状なしでの総会出席者1名を加えて総数251名で、代議員総数325名の過半数（163名）を上回り、定款30条の定足数を満たし、社員総会が正式に成立することが報告され、開会の辞が述べられた。

議長選出

仲嶋常務理事より、定款33条に基づき理事会において第124回全国学術集会会頭の影山 幾男先生（日本歯科大学）を議長に選出したことが報告された。

I. 議事録署名人の選任

仲嶋常務理事より、定款34条に基づき議事録署名人として監事の松村譲児先生（杏林大学）と渡辺雅彦先生（北海道大学）が推薦され、承認された。

II. 理事長報告

岡部理事長より解剖学会の状況について報告があった。主な点は以下の通り。1) 解剖学会の学術的な質を向上させるために他学会との連携を進めており、生理学会とは2021年度の合同大会開催が決定した。顕微鏡学会とも連携をすすめている。海外では韓国解剖学会（KAA）との若手研究者交流協定を締結し、8th APICAへ若手研究者を派遣した。2) 若手研究者の会を発足させることとし、本学術集会期間中にランチョン討論会をおこなう。3) サージカルトレーニングが普及してきており、学会として情報を周知していきたい。

III. 報告事項

以下1～7について、仲嶋常務理事より資料に基づき報告された。

1. 会員状況

2018年12月31日現在の会員状況は、正会員1,951名、名誉会員63名、永年会員155名、賛助会員24名、団体会員48名、海外会員15名であることが報告された。

2. 物故会員

9名の物故会員氏名が奉読され、出席者全員により黙祷が捧げられた。

3. 教授就任による新代議員紹介

12名の教授就任による新代議員が紹介された。

4. 入会手続のオンライン化について

2019年度よりオンラインによる入会手続を導入した。

5. 日本解剖学会「若手研究者の会」発足について

若手研究者同士の交流、情報交換を通して、解剖学の持続的な発展に寄与することを目的として、有志10名により設立準備委員会を発足させた。本学術集会3日目にランチョン討論会をおこなう。

6. 規約の一部改正について

一般社団法人日本解剖学会 認定解剖組織技術者功労賞規約の一部改正をおこなった。

7. 韓国解剖学会（KAA）との若手研究者交流協定締結について

昨年、韓国・釜山で開催された8th APICAへ日本解剖学会より4名の若手研究者を派遣した。これを機に韓国解剖学会（KAA）との若手研究者の相互交流を行いたく、協定書を締結した。

8. その他

第19回国際解剖学会議（The 19th IFAA Congress）が2019年8月9～11日の日程でロンドンにて開催されることが報告された。

IV. 審議事項

1. 新永年会員の件

仲嶋常務理事より、資料に基づき理事会より推薦された11名の新永年会員について説明され、協議の結果、過半数以上の賛成にて承認された。

2. 申請による代議員の件

仲嶋常務理事より、資料に基づき理事会より推薦された6名の新代議員について説明され、協議の結果、過半数以上の賛成にて承認された。

3. 2018年度事業および業務監査報告の件

以下①～⑦の事業について、仲嶋常務理事より資料に基づいて説明された。またこれらの事業についての業務監査報告は、次の会計監査報告と合わせて松村監事より説明され、協議の結果、過半数以上の賛成にてすべて承認された。

①学術集会開催状況

2018年度の全国学術集会と支部学術集会の開催状況について

②会議開催状況

2018年度の常務理事会、理事会、定時社員総会の会議開催状況について

③学会誌の刊行状況

ASIおよび解剖学雑誌の刊行状況について。とくに解剖学雑誌のバックナンバーのPDF化を進め、学会ホームページに掲載予定である。ASIについては2017年のimpact factorが1.330まで上昇した。

④委員会報告

以下の委員会の活動報告書について

1) 認定解剖組織技術者資格審査委員会、2) 解剖体委員会、3) 解剖学用語委員会、4) 海外交流委員会、5) 教育・若手育成委員会、6) アウトリーチ委員会、7) 学術委員会、8) 医療専門職教育委員会、9) 倫理・利益相反委員会、10) 男女共同参画推進委員会

⑤研究の奨励および業績の奨励

2018年度日本解剖学会奨励賞ならびに2018年度日本解剖学会認定技術者功労賞各受賞者について

⑥内外学術団体との協力ならびに連絡

⑦技術者認定

1級技術者合格者ならびに2級技術者合格者について

4. 2018年度決算および会計監査報告の件

八木沼常務理事より、資料に基づき2018年度決算について説明された。引き続き松村監事より、渡辺監事と松村監事による事業および会計状況に関する監査報告書と小出公認会計士による独立監査人の監査報告書の内容が説明され、協議の結果、過半数以上の賛成にてすべて承認された。

5. 2019年度予算および事業計画の件

仲嶋常務理事より、資料に基づき2019年度の事業計画内容について、八木沼常務理事より、資料に基づき2019年度予算についてそれぞれ説明され、協議の結果、過半数以上の賛成にていずれも承認された。

6. 2020年度予算執行の件

八木沼常務理事より、2020年度予算執行に関して、定時社員総会開催までの1～3月分の予算執行については理事会に一任することの提案がなされ、協議の結果、過半数以上の賛成にて承認された。

7. 第126回（2021年度）ならびに第127回（2022年度）総会・全国学術集会開催担当校の件

岡部理事長より、以下2点が説明された。①第126回（2021年度）総会・全国学術集会は第98回日本生理学会大会との合同大会として開催し、担当校に名古屋大学、会頭に機能組織学の木山博資先生を推薦する。②第127回総会・全国学術集会担当校に大阪大学を、会頭に神経機能形態学の佐藤 真先生を推薦する。協議の結果、過半数以上の賛成にていずれも承認された。

8. 2019・2020年度役員選任の件

仲嶋常務理事より、資料に基づき2019・2020年度役員選出選挙の結果が報告され、協議の結果、過半数以上の賛成にて承認された。引き続き、選出された理事による次期理事会が開催され、仲嶋常務理事より、次期理事による互選の結果、次期理事長に八木沼洋行先生、次期常務理事に牛木辰男先生、西 真弓先生、野田泰子先生、ならびに渡辺雅彦先生が選出されたことが報告され、協議の結果、過半数以上の賛成にて承認された。続いて八木沼新理事長から挨拶があった。

9. 役員選出細則、ならびに委員会設置規程の一部改正の件

仲嶋常務理事より、資料に基づき役員選出細則、ならびに委員会設置規程の一部改正の件について説明

があった。役員選出細則の改正は、①理事及び監事の選出における投票数が同数の場合の取り扱いに関して、生年月日も同一の場合は、会員歴が古い者を優先することとする改正、②男女共同参画の観点から必要と判断された場合の新理事長からの追加の理事推薦について、時限特別措置を平成36年度定時社員総会終結時まで延長する改正の2点であり、委員会設置規程の改正は選挙管理委員会の委員数に関する改正である。協議の結果、過半数以上の賛成にていずれも承認された。

引き続き、八木沼新理事長から男女共同参画の観点からの指名理事として、城戸瑞穂先生、藤山文乃先生を指名したい旨の提案があり、協議の結果、過半数以上の賛成にて承認された。

10. 著作権に関する規程制定の件

木山常務理事より、資料に基づき著作権に関する規程制定の件について、本規程は商用目的での転載許諾申請があったことを受けて制定することとなり、具体的な使用料を制定したとの説明があり、協議の結果、過半数以上の賛成にて承認された。

11. 定款、ならびに代議員選出規程の一部改正の件

岡部理事長より、資料に基づき定款、ならびに代議員選出規程の一部改正の件について説明があった。

①役員及び会計監査人の選任、資格の喪失、定年に関して、役員就任の予定日に満65歳以上になる代議員は役員候補者の選出時点で被選挙権を持たないこととする改正、②代議員の選任に関して、代議員数を200名以上500名以内とする改正の2点であり、協議の結果、過半数以上の賛成にていずれも承認された。

12. 会計監査人交代の件

岡部理事長より、資料に基づき会計監査人交代の件について説明があった。定款の規定により、会計監査人である小出将恵 公認会計士（小出将恵公認会計士事務所）が任期満了退任となるため、その後任として高岸 圭 公認会計士（高岸圭公認会計士事務所）を選任する旨の説明があった。協議の結果、過半数以上の賛成にて承認された。

13. その他

特になし。

V. 第125回（2020年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

第125回（2020年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について、会頭の篠田 晃先生（山口大学）から説明があった。3月25日（水）～27日（金）、ANAクラウンプラザホテル宇部において開催される。テーマは「世界を動かすカタチの時空芸術～アナドルなかれアナトミー～」である。

閉会の辞

議長（影山 幾男先生）より、閉会の辞が述べられた。

上記の2019年度 定時社員総会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

年（平成 年） 月 日

一般社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人